

平成24年度事業報告 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF
NINGEN DOCK

公益社団法人

日本人間ドック学会

目次

(事業報告)

I. 序章	1
1. 事業実施事項	1
2. 役員／社員／会員数等	3
II. 人間ドック認定医制度	4
1. 第14回人間ドック認定医認定	4
2. 第9回人間ドック認定医更新	4
III. 人間ドック健診専門医制度	4
1. 平成24年度人間ドック健診専門医認定試験 認定者数	4
2. 人間ドック健診専門医制度 研修(関連)施設・指導医 認定(委嘱)数	4
IV. 人間ドック健診施設機能評価	5
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	5
2. Ver3.0への移行について	5
3. サーベイヤ意見交換会	5
4. 第13回サーベイヤ研修会	6
V. 研修会・人材育成活動	7
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	7
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	9
3. 人間ドック健診食生活改善指導士の育成	12
4. 特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けての説明会	13
VI. 第53回 日本人間ドック学会学術大会	14
1. 開催概要	14
2. 主要プログラム	15

(決算報告) 平成25年3月31日 現在

1. 貸借対照表	1
・ 貸借対照表内訳表	2
2. 正味財産増減計算書	3
・ 正味財産増減計算書内訳表	4
・ 財務諸表に対する注記	6
3. 財産目録	7
・ 附属明細書	8

事業報告

<事業報告>

I. 序 章

1) 事業実施事項

1. 学術大会開催に関する事項

第53回日本人間ドック学会学術大会

期 日：2012年（平成24年）9月1日（土）～2日（日）

会 場：東京都 東京国際フォーラム

テーマ：「チェック・ケア・プロモーション」

学術大会長：和 田 高 士（東京慈恵会医科大学 大学院健康科学 教授）

2. 研修会開催に関する事項

①人間ドック健診認定医・専門医研修会の開催（年3回）

*1回は学術大会中の研修会として取り扱う

②人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催（年2回）

③人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（年2回）

④人間ドック健診食生活改善指導士研修会の開催（年1回）

⑤人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（年5回）

3. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医制度に関する事項

①人間ドック認定医の質の向上と強化

②人間ドック健診専門医試験の実施（日本総合健診医学会との合同）

③人間ドック健診指導医の認定（日本総合健診医学会との合同）

④人間ドック健診研修施設（研修関連施設）の認定（日本総合健診医学会との合同）

4. 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

①人間ドック健診施設の認定

②人間ドック健診施設機能評価受審の推進

③人間ドック健診施設機能評価表 Ver. 3 の作成

5. 人間ドック健診情報管理（食生活改善）指導士に関する事項

①人間ドック健診情報管理指導士の認定

②人間ドック健診食生活改善指導士の認定

6. 特定健診・特定保健指導に関する事項

①特定健診・特定保健指導施設のとりまとめと保険者への紹介（集合契約A）

②特定健診・特定保健指導に関する情報収集活動の強化

7. 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との一泊ドック・二泊ドックの指定契約

8. 広報活動に関する事項

- ① 学会誌「人間ドック」の充実、投稿の拡大強化
 - VOL. 27 NO. 1 2012. 6 (原著英和論文・学会大会プログラム集)
 - VOL. 27 NO. 2 2012. 7 (学会大会抄録集)
 - VOL. 27 NO. 3 2012. 9 (原著英和論文集)
 - VOL. 27 NO. 4 2012. 12 (原著英和論文・学会大会開催案内集)
 - VOL. 27 NO. 5 2013. 3 (原著英和論文/学会大会開催案内第2弾)
- ②会員の増加につながる対外的広報活動の強化
- ③電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJ-STAGEに登載する、世界中どこからでもアクセスできる体制を整える
- ④協力団体等との情報交換を積極的に展開
- ⑤国内外の学会団体との交流を深める
- ⑥学会活動状況を積極的に公開

9. 委員会活動に関する事項

- ①基本問題検討委員会
- ②人間ドック健診施設機能評価委員会
 - ・Ver. 3 作成検討小委員会
- ③学術委員会
 - ・がん登録小委員会 / 基準検査検討小委員会 / 呼吸機能基準値検討小委員会
 - 喫煙対策小委員会
- ④編集委員会
- ⑤日本人の臨床検査基準値に関する調査委員会
- ⑥人間ドック健診統計調査委員会
- ⑦倫理委員会
- ⑧人間ドック健診認定医委員会
- ⑨人間ドック健診専門医合同委員会
 - ・試験問題検討・作成小委員会(問題集作成小委員会) / 認定小委員会 / 研修会検討小委員会
- ⑩人間ドック健診専門医制度委員会(単独)
- ⑪人間ドック健診判定・指導ガイドライン作成委員会
 - ・画像検査判定ガイドライン小委員会
- ⑫特定健診/特定保健指導対策委員会
 - ・研修内容検討小委員会
- ⑬社員選任/役員選定委員会

10. 統計・調査に関する事項

- ①人間ドック健診施設受診者データの経年的分析、蓄積
- ②特定健診/特定保健指導実施施設受診者数データの整理
- ③行政機関、他の学術団体との比較可能なデータの集積

2) 役員／社員／会員数等

- ①役員数等 理事長 1名
 副理事長 3名
 理事 22名
 監事 3名
 (名誉顧問) 19名

- ②社員総数 157名

- ③正会施設会員／賛助会員数 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

A会員 (医師)	5,292 人
B会員 (医師以外)	585 人
C会員 (施設 (医療機関))	1,589 施設
S会員 (企業など)	26 団体

- ④その他

- ・人間ドック認定医・専門医数 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

認定医交付人数	4,408 人
専門医交付人数	901 人

- ・人間ドック健診情報管理指導士累積人数 4,914 人 (平成 25 年 3 月 31 日現在)
- ・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数 936 人 (平成 25 年 3 月 31 日現在)
- ・人間ドック健診施設機能評価累積認定数 305 施設 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

- ・一日ドック／二日ドック指定数 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

一日ドック	261 施設
二日ドック	563 施設

II. 人間ドック認定医制度

1. 第14回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、平成24年4月1日の認定者数は231名であり、認定医交付総数として4,408名となった。

2. 第9回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、平成24年4月1日の更新者数は221名であり、更新者総数は2,205名である。

III. 人間ドック健診専門医制度

平成23年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、平成24年度より日本総合健診医学会との合同事業となったことから、平成24年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、139名（日本総合健診医学会認定者21名、新制度更新者7名 計167名）の新制度人間ドック健診専門医が誕生した。

人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位（両学会企画30単位・両学会以外の企画20単位）を取得することとなる。

◆平成24年度人間ドック健診専門医認定試験（両学会合同）

日時：平成24年10月21日（日） 13:00～14:40（受付12:00～）

会場：砂防会館 別館1階 シェーンバッハ・サボー（淀・信濃）

（東京都千代田区平河町2-7-5）

受験対象者：社員および申請した認定医更新者等 資格該当者（両学会 計170名）

試験内容：●両学会の問題集および追加問題含め 計100問出題

●100問×1回（100分間） マークシート方式による筆記試験

◆平成24年度人間ドック健診専門医 認定者数

・日本人間ドック学会 平成24年度人間ドック健診専門医認定者数：139名

（日本総合健診医学会 平成24年度認定者数：21名 新制度更新者数：7名）

認定期間は、平成25年4月1日～平成30年3月31日 5年間とする。

【人間ドック（健診）専門医認定者数（累計）：901名】

◆平成24年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

新制度条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

・日本人間ドック学会： 研修施設 4施設 指導医 44名

・（日本総合健診医学会： 研修施設 4施設 指導医 19名）

認定期間は、平成25年4月1日～平成30年3月31日 5年間とする。

- ・旧制度 委嘱数 (平成 25 年 3 月 1 日現在) 【委嘱期間 ~平成 26 年 3 月 31 日まで】
- 研修施設 166 施設 (指導医 247 名)
- 研修関連施設 116 施設 (指導医 138 名)

IV. 人間ドック健診施設機能評価

平成 25 年 3 月末現在、415 施設から受審申請がある。認定施設の累計は 305 施設であり、うち 188 施設がバージョン 2.0 での更新を完了し、12 施設が更新を辞退している。

認定施設の分布状況は、44 都道府県に認定施設がある。(申請は全 47 都道府県からある)

【認定施設の分布 *平成 25 年 3 月末現在】

北海道	10	東京都	50	滋賀県	1	香川県	4
青森県	3	神奈川県	20	京都府	10	愛媛県	3
岩手県	2	新潟県	4	大阪府	19	高知県	3
宮城県	8	富山県	2	兵庫県	10	福岡県	11
秋田県	4	石川県	1	奈良県	2	佐賀県	1
山形県	2	福井県	3	和歌山県	0	長崎県	2
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	3
茨城県	4	長野県	8	島根県	1	大分県	4
栃木県	4	岐阜県	7	岡山県	9	宮崎県	0
群馬県	5	静岡県	9	広島県	10	鹿児島県	3
埼玉県	9	愛知県	15	山口県	2	沖縄県	3
千葉県	10	三重県	7	徳島県	1	海外 (台湾)	2

◆バージョン 3.0 への移行について

平成 20 年度より運用されてきた評価基準バージョン 2.0 から、更なる円滑で質の高い評価を行うために、平成 25 年度より評価基準バージョン 3.0 に移行する。作成検討委員会を発足し、新基準の運用に向けて約 4 年間の実績を踏まえた改定を行った。

◆サーベイヤー意見交換会

評価基準バージョン 3.0 の経過報告および、意見交換を行った。

日 時：平成 24 年 8 月 31 日 (金) 13:30~16:30

会 場：スクワール麹町

参加者：小山和作 (委員長) 那須 繁 (Ver. 3 作成検討委員会委員長) 他委員 11 名

サーベイヤー 21 名

(計 35 名)

◆第 13 回サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。今年は、評価基準バージョン 3.0 最終版の報告を行った。

日 時：平成 25 年 3 月 8 日（金）14:00～17:00

会 場：スクワール麴町

参加者：91 名（うち新規サーベイヤー5 名、パイロットスタディ受審 2 施設 3 名）

V. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第31回人間ドック健診認定医・専門医研修会

会 場：神戸ポートピアホール 718名
日 時：平成24年6月16日（土） 12：30～16：35

（前半司会：廣瀬光彦 委員 後半司会：岡山政由 委員）

- 12：30～13：40 「生活習慣と認知機能長期縦断疫学研究（NILS-LSA）
の健康長寿への挑戦ー」
独立行政法人国立長寿医療研究センター予防開発部長 下方 浩史
- 13：40～14：50 「大腸がんのスクリーニングとサーベイランスの基礎知識」
佐野病院 理事長・院長、消化器センター顧問 佐野 寧
- 15：05～16：15 「膵がん早期診断における超音波検査の役割」
（財）大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター 所長 田中 幸子
- 16：15～16：35 「認定医・専門医最新情報 第2報」
人間ドック健診専門医合同委員会 委員長、
三井記念病院総合健診センター 所長 山門 實
- 16：35～ 参加証明シール配布

●第32回人間ドック健診認定医・専門医研修会

会 場：東京国際フォーラム B棟 7階 ホールB7 1,128名
日 時：平成24年9月2日（日） 13：30～17：20

（前半司会：鏑木淳一 委員 後半司会：原 茂子 委員）

- 13：30～13：35 開会挨拶 奈良 昌治 日本人間ドック学会 理事長
- 13：35～14：35 「人間ドックにおける眼科検査の判定と将来展望」
国立病院機構東京医療センター感覚器センター 部長 山田 昌和
- 14：45～15：55 「人間ドックの診察室でこの外表所見にどう答えるか」
東京慈恵会医科大学 形成外科 准教授 宮脇 剛司
- 16：10～17：20 「子宮頸がん検診における注意点と今後のドックに必要な最新検診」

17：20～ 参加証明シール配布

●第33回人間ドック健診認定医・専門医研修会

会 場：東京ビッグサイト国際会議場 849 名

日 時：平成25年3月3日（日） 12：30～17：00

（前半司会：山門 實 委員 後半司会：宮下 正弘委員長）

12：30～12：35 開会挨拶 奈良 昌治 日本人間ドック学会 理事長

12：35～13：45 「食道がんの内視鏡診断」
東京医科大学内視鏡センター 教授 河合 隆

13：45～14：55 「人間ドック健診で診断すべき内分泌疾患」
東京女子医科大学第二内科 教授 肥塚 直美

15：10～16：20 「遺伝子学検査の現状と課題」
東京ミッドタウンクリニック 院長 田口 淳一

16：20～17：00 「平成25年度からの特定健診・特定保健指導」
あいち健康の森健康科学総合センター センター長兼
あいち介護予防支援センター長 津下 一代

17：00～ 参加証明シール配布

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会

(対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	日程	会場	認定者数	内訳
第 19 回	平成 24 年 8 月 3 日 (金) ～4 日 (土)	ベルサール飯田橋 ファースト (東京)	200 名	医師：37 名 保健師：116 名 管理栄養士：47 名 (他修了者：22 名)
第 20 回	平成 25 年 1 月 25 日 (金) ～26 日 (土)	ベルサール九段 (東京)	166 名	医師：47 名 保健師：83 名 管理栄養士：36 名 (他修了者：12 名)

【平成 24 年度 プログラムと担当講師】

『基礎編：①健診・保健指導の理念②保健指導対象者の選定と階層化③保健指導の基本的事項』

・福井 敏樹 (NTT 西日本高松診療所予防医療センター 所長)

『基礎編：①保健指導の立案～評価まで②ポピュレーションアプローチとの連動』

『技術編：①行動変容に関する理論②生活習慣病改善への行動計画③情報提供、動機付積極的支援の内容』・

・福田 洋 (順天堂大学医学部総合診療科 准教授)

『技術編：メタボリックシンドロームの概念』

『技術編：保健指導の評価』

・高橋 英孝 (東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授)

『身体活動・運動に関する保健指導』

・宮地 元彦 (独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部長)

『たばこ・アルコールに関する保健指導』

・中村 正和 (大阪がん循環器病予防センター 予防推進部長)

『食生活に関する保健指導』

・五味 郁子 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 講師)

『行動変容につながる保健指導』

- ・河野 啓子（四日市看護医療大学 学長）

『保健指導の展開』（演習）

- ・河野 啓子（四日市看護医療大学 学長）
- ・後藤 由紀（四日市看護医療大学 地域看護学 准教授）
- ・畑中 純子（四日市看護医療大学 地域看護学 准教授）

『人間ドック健診におけるがん検診—その現状と展望—』

- ・三原 修一（みはらライフケアクリニック 院長）

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会

（対象：医師・保健師・管理栄養士）

回	日程	会場	参加者数	内訳
第 19 回	平成 24 年 6 月 30 日（土）	AP 浜松町（東京）	<u>214 名</u>	医師：79 名 保健師：84 名 管理栄養士：51 名
第 20 回	平成 24 年 7 月 21 日（土）	TKP ガーデンシティ 博多（福岡）	<u>153 名</u>	医師：50 名 保健師：68 名 管理栄養士：35 名
第 21 回	平成 24 年 9 月 9 日（日）	AP 浜松町（東京）	<u>215 名</u>	医師：81 名 保健師：77 名 管理栄養士：57 名
第 22 回	平成 24 年 10 月 13 日（土）	京都リサーチパーク （京都）	<u>194 名</u>	医師：61 名 保健師：67 名 管理栄養士：66 名
第 23 回	平成 25 年 2 月 17 日（日）	AP 浜松町（東京）	<u>209 名</u>	医師：91 名 保健師：71 名 管理栄養士：47 名

【平成 24 年度 プログラムと担当講師】

『人間ドック健診情報管理指導士更新について』

- ・高橋 英孝（東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授）

『厚生労働省の検討会報告と質疑応答』

- ・山門 實（三井記念病院総合健診センター 特任顧問）

『禁煙指導』

- ・来馬 明規（とげぬき地蔵尊 高岩寺 住職）

『睡眠と休養について』

- ・足達 淑子（あだち健康行動学研究所 所長）
- ・保坂 隆（聖路加国際病院精神腫瘍科 医長）
- ・宮崎 総一郎（滋賀医科大学睡眠学講座 特任教授）

『事例検討』（演習）

（事例提供）

- ・秋元 順子（こころとからだの元氣プラザ 医療サービス事業本部健康支援部 部長）
- ・生山 由利子（日本赤十字社熊本健康管理センター 第一健康栄養係長）
- ・橋本 良子（一般財団法人京都工場保健会 保健指導課）
- ・山下 真理子（医療法人社団同友会 産業保健本部 産業保健指導部 部長補佐）

（事例における運動指導のポイント）

- ・宮地 元彦（独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部長）
- ・村上 晴香（独立行政法人国立健康・栄養研究所 運動ガイドライン研究室 研究員）

（事例における食生活指導のポイント）

- ・五味 郁子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 講師）
- ・竹並 恵里（東京大学 大学院総合文化研究科生命環境科学系 身体運動科学）

（演習リーダー）

- ・福井 敏樹（NTT 西日本高松診療所予防医療センター 所長）
- ・福田 洋（順天堂大学医学部総合診療科 准教授）

（演習講師）

- ・大塚 博紀（さやま総合クリニック健診センター 健診センター長）
- ・飯田 吾子（牧田総合病院人間ドック健診センター 健康運動指導士）
- ・牛島 絹子（日本赤十字社熊本健康管理センター 保健看護部 部長）
- ・本藤 和子（日本赤十字社熊本健康管理センター 保健看護部 外来看護課 課長）
- ・原 寛子（こころとからだの元氣プラザ 健康支援部）
- ・渡邊 まいみ（こころとからだの元氣プラザ 健康支援部）
- ・奥田 友子（一般財団法人京都工場保健会 産業保健推進部 保健指導課 課長）
- ・上野 香菜（一般財団法人京都工場保健会 総合健診センター）
- ・脇神 亜希子（医療法人社団同友会 産業保健本部 産業保健指導部）

3. 人間ドック健診食生活改善指導士の育成

●人間ドック健診食生活改善指導士 研修会

(対象：看護師・准看護師・栄養士・薬剤師・歯科医師・歯科衛生士等)

回	日程	会場	認定者数	内訳
第7回	平成24年11月22日(木)～ 25日(日)	TFTビル (東京)	85名	看護師：66名、准看護師：4名 薬剤師：1名、栄養士：9名 歯科医師：2名、歯科衛生士：2名 助産師：1名

【平成24年度 プログラムと担当講師】

『健康づくり施策概論』

- ・和田 高士 (東京慈恵会医科大学 総合健診・予防医学センター 教授)

『生活指導と健康に影響する生活環境要因・個人の健康課題への対処行動』

- ・久保 善子 (東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 地域看護学 講師)

『ストレスとその関連疾患及びストレスへの気づきへの援助』

- ・矢内 美雪 (キャノン株式会社 矢向事業所 安全衛生課 健康支援室)

『個別・集団の接近方法』

- ・田村 須賀子 (富山大学大学院医学薬学研究部 教授)

『ライフステージ、健康レベル別健康課題と生活指導』『口腔保健』『研究討議(演習)』

- ・河野 啓子 (四日市看護医療大学 学長)

『栄養・食生活の基礎知識・食行動変容と栄養教育』『健康教育の理念と方法』

- ・五味 郁子 (神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 講師)

『栄養・食生活の今日的課題と対策・ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育』

- ・佐々木 由樹 (株式会社創健ピーマップ 代表取締役)

『健康生活への指導プログラムの基礎知識と方法・メタボリックシンドロームに対する健康教育』

- ・小島 美和子 (有限会社クオリティライフサービス 代表取締役)

『運動と健康のかかわり』

- ・鈴木 志保子 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授)

『研究討議（演習）』

・後藤 由紀（四日市看護医療大学 地域看護学 准教授）

『がんを予防する食生活』

・津金 昌一郎（国立がん研究センター がん予防・検診研究センター・予防研究部長）

4. 特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けての説明会

日 時：平成 24 年 11 月 30 日（金） 13：00～17：00

会 場：東京ビッグサイト 7F 国際会議場

参加者：医師、保健師、管理栄養士、看護師、事務系等の方、

日本病院会/日本人間ドック学会/日本人間ドック健診協会施設会員職員または個人会員

合計 858 名

～プログラム～

開会挨拶 日本人間ドック学会 理事長 奈良 昌 治

総合司会：高橋英孝 日本人間ドック学会特定健診・特定保健指導対策委員長
(東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 教授)

● 「平成 25 年度からの特定健診・保健指導の見直しに向けた準備状況」

～「手引き」等の改定状況について～

講師：厚生労働省保険局総務課医療費適正化対策推進室

室 長 鈴木 建 一

● 「実施機関から保険者等への報告様式について」

講師：一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)

保健福祉システム部会健康支援システム委員会

委員長 鹿 妻 洋 之

● 「特定健診・特定保健指導結果情報の保険者サイドへの提供についての留意事項について」

講師：健康保険組合連合会 IT 推進部長

鎌 田 博 三

● 「人間ドック健診における特定健診・特定保健指導等に対する対応」

講師：三井記念病院総合健診センター 特任顧問、

日本人間ドック学会理事、学術委員会委員長

山 門 實

VI. 第 53 回 日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

1. 開催日程	平成 24 年 9 月 1 日(土曜)・2 日(日曜)	
2. 開催会場	東京都：東京国際フォーラム	
3. 学術大会長	和田 高士 (東京慈恵会医科大学大学院教授)	
4. テーマ	『チェック・ケア・プロモーション』	
5. 開催内容	学術大会長講演	1 題
	基調講演	1 題
	(海外) 招待講演	1 題
	招請講演	1 題
	特別講演	1 題
	教育講演	1 題
	総括講演	1 題
	速報講演	1 題
	シンポジウム	2 題
	症例検討	2 題
	特別企画	4 題
	会員集会・全国集計報告ほか	1 題
	国際セッション (申込み 3 題)	3 題
	一般演題 (申込み 429 題)	414 題
	合計	434 題
	ランチョン・モーニングセミナー	19 題
	魅せます！わが社の製品	7 題
	企業展示	89 ブース

6. 参加実人数	4,468 名(有料者のみ)	
・事前登録参加者	2,148 名	
	(医師	1,618 名)
	(その他	530 名)
・当日参加者	2,320 名	
	(医師	1,320 名)
	(その他	1,000 名)

7. 併設企画

・サテライトセミナーA	110名
・サテライトセミナーB	338名
・サテライトセミナーC	28名

8. 市民向け

日本人間ドック健診協会主催

市民公開体験・展示「これが人間ドック」 体験者数 801名

「受けてよかった人間ドック」体験記コンクール表彰式

第32回人間ドック健診認定医・専門医研修会 1,128名 以上

2. 学術大会主要プログラム

第1日 9月1日(土) 第1会場(7F ホールB7-1)

開会式

■ 基調講演

「臨床医学研究のあり方と課題」

座長：栗原 敏 (東京慈恵会医科大学)

演者：永井 良三 (自治医科大学)

■ 学術大会長講演

「病気を診ずして病人を診よ」

座長：高木 敬三 (東京慈恵会医科大学)

演者：和田 高士 (東京慈恵会医科大学大学院健康科学)

東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター)

■ 特別講演

「大腸カプセル内視鏡検査—現状と今後の展望—」

座長：久保田芳郎 (キッコーマン総合病院)

演者：田尻 久雄 (東京慈恵会医科大学内科学講座 消化器・肝臓内科 内視鏡科)

■ 症例検討「この症例に対する方針は？医療機関紹介？経過観察？」

腎臓「人間ドックにおけるCKD(慢性腎臓病)と血尿をどう考えるか」

座長：原 茂子 (虎の門病院 健康管理センター・腎センター内科)

討論：安田 宜成 (名古屋大学大学院医学系研究科 CKD 地域連携システム講座/腎臓内科)

辻 裕之 (虎の門病院附属健康管理センター)

伊藤 一人 (群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学)

肝臓「肝臓病トピックス、小さな肝血管腫、良い脂肪肝と悪い脂肪肝」

座長：銭谷 幹男 (東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター)

討論：荒瀬 康司（虎の門病院附属健康管理センター・画像センター 統括センター）
新 智文（帯広厚生病院健康管理科）
足立 雅樹（埼玉医科大学健康管理センター）

■ 会員集会 [16:40 ~ 18:10]

会員集会 奈良昌治（公益社団法人日本人間ドック学会理事長）

2011 年度全国集計成績報告

座長：伊藤千賀子（日本人間ドック学会副理事長・人間ドック健診統計調査委員会委員長）

演者：笹森 齊（人間ドック健診統計調査委員会副委員長）

委員会報告

那須 繁（人間ドック健診施設機能評価Ver.3 作成検討小委員会実行委員長）他
優秀論文表彰式

第1日 9月1日（土）第2会場（7F ホールB7-2）

■ シンポジウム（S1） [16:15 ~ 17:25]

「私の施設のリスク・ヒューマンエラー対応」

座長：野村 幸史（野村病院）

富田 博樹（日本赤十字社）

演者：日赤熊本健康管理センターにおけるヒューマンエラー対策

リスクマネジメント部会の取り組み

盛川恵美子（日本赤十字社熊本健康管理センター 外来看護課）

演者：人間ドックでのリスクマネジメント 多職種間との連携の取り組み方

常喜 眞理（東京慈恵会医科大学附属病院 新橋健診センター）

演者：私の施設のリスク・ヒューマンエラー対応—武蔵野赤十字病院の取り組み—

矢野 真（日本赤十字社 事業局）

演者：情報管理システムを用いた人間ドック胃内視鏡検診のリスクマネジメント

林田 明美（済生会熊本病院 予防医療センター）

■ 総括講演

「医療におけるヒューマンエラーとその対策」（専門医の認定更新単位の研修指定講演）

座長：野村 幸史（野村病院）

演者：河野龍太郎（自治医科大学医学部 医療安全学（附属病院医療安全対策部兼任）、
メディカルシミュレーションセンター）

第1日 9月1日（土）第3会場（5F ホールB5）

■ 招待講演（Invited Lecture）（英語発表、スライドは日本語予定）

The challenge of health promotion in a changing world Taiwan perspective

座長：劉 輝雄（輝雄診所）

演者：黃 暉庭（Taiwan Adventist Hospital）

■ 特別企画

健康習慣「一無、二少、三多」少食

人はどれだけ食べればよいか

座長：大道 道大（社会医療法人大道会 森之宮病院）

演者：渡邊 昌（NPO 日本総合医学会/ 社団法人生命科学振興会）

健康習慣「一無、二少、三多」多休

ヘルペスウイルスによる疲労の客観的定量法と人間ドックへの応用

座長：堺 常雄（聖隷浜松病院）

演者：近藤 一博（東京慈恵会医科大学 ウイルス学）

第2日 9月2日（日）第1会場（7F ホールB7-1）

■ 招請講演 [9:10 ~ 10:10]

「特定健診の全項目の変動を評価する-生理的変動幅から見た有意な個人的変化はどの程度なのか-」

座長：渡辺 清明（国際医療福祉大学）

演者：市原 清志（山口大学大学院医学系研究科 保健学系学域・生体情報検査学）

■ 教育講演 [10:20 ~ 11:20]

「腹部超音波がん検診基準とカテゴリー判定」

座長：小野 良樹（財団法人東京都予防医学協会 保健会館クリニック）

演者：田中 幸子（財団法人大阪府保健医療財団 大阪がん循環器病予防センター）

追加発言「腹部超音波がん検診基準の判定基準を使用して」

演者：神宮字広明（公益財団法人東京都予防医学協会 検査研究センター検診検査部）

第2日目9月2日（日）第2会場（7F ホールB7-2）

■ 学会主導企画（がん登録小委員会）シンポジウム

「人間ドックにおけるがん登録はどうあるべきか？」

-要精検者の追跡調査とがん登録の実際-

座長：山門 實（三井記念病院総合健診センター）

三原 修一（みはらライフケアクリニック）

演者：がん登録の最近の動向について

祖父江友孝（大阪大学大学院医学系研究科 社会環境医学講座環境医学）

人間ドック前立腺がん検診における要精査者の長期にわたる継続的管理システムのあり方

熊坂 文成（医療法人社団美心会 黒沢病院 予防医学研究所）

地域がん登録を利用したFDG-PET がん検診の精度評価

仙石 多美（東天満クリニック）

当施設（病院非併設型）における精査判定症例の結果追跡に関する取り組み
鍛冶谷晴美（トヨタ自動車株式会社 健康支援センターウェルポ）

当施設における要精検者の追跡調査及びがん登録の現状
吉村 理江（医療法人財団博愛会 人間ドックセンター ウェルネス）

健診における事後管理とがん登録のあり方に関する提言
日高えり子（日本赤十字社熊本健康管理センター 健康増進部 健康情報課）

■ 速報講演

「平成25年度からの特定健康診査・特定保健指導はこうなる」（抄録71 ページ）

座長：高橋 英孝（東海大学八王子病院健康管理センター/
基盤診療学系健康管理学）

演者：津下 一代（公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団 あいち健康の森健康科学総合センター）

第2日目9月2日（日）第3会場（5F ホールB5）

■ 特別企画

健康習慣「一無、二少、三多」少酒
飲酒量を減らす指導テクニック

座長：相澤 孝夫（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院）

演者：樋口 進（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

健康習慣「一無、二少、三多」多接
多接と絆、ソーシャルキャピタル

座長：海原 純子（白鷗大学）

演者：辻 一郎（東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野）

■ 閉会式

「受けてよかった人間ドック」体験記コンクール 最優秀作品表彰式

■ サテライトセミナーA

「医療や産業現場での禁煙支援・治療の実際」

座長：阪本 要一（慈恵医大晴海トリトンクリニック）

指導・演者：中村 正和（財団法人大阪府保健医療財団 大阪がん循環器病予防センター 予防推進部）

第1部「医療や産業現場での禁煙支援・治療の実際（講義）」

第2 部「禁煙にむけての問題解決カウンセリングの実際①-行動療法（演習）」

第3 部「禁煙にむけての問題解決カウンセリングの実際②-薬物療法（演習）」

■ サテライトセミナーB

「メタボとロコモを予防・改善するための運動・身体活動」

座長：小堀 悦孝（公益財団法人藤沢市保健医療財団 藤沢市保健医療センター）

演者：宮地 元彦（独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部）

平成24年度 決算報告

平成25年3月31日 現在

貸借対照表

平成25年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	98,204,974	76,075,875	22,129,099
未収金	2,512,189	1,905,782	606,407
前払金	1,060,973	598,972	462,001
立替金	360,697	71,288	289,409
流動資産合計	102,138,833	78,651,917	23,486,916
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産合計	0	0	
(2) その他固定資産			
建物	2,304,853		2,304,853
什器備品	1,849,531	148,862	1,700,669
ソフトウェア	457,376	1,201,962	△ 744,586
敷金保証金		3,650,880	△ 3,650,880
その他固定資産合計	4,611,760	5,001,704	△ 389,944
固定資産合計	4,611,760	5,001,704	△ 389,944
資産合計	106,750,593	83,653,621	23,096,972
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,510,150		5,510,150
未払消費税等	1,281,400	1,557,400	△ 276,000
預り金	729,460	703,269	26,191
流動負債合計	7,521,010	2,260,669	5,260,341
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計	7,521,010	2,260,669	5,260,341
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金 (うち特定資産への充当額)	71,084,813	71,084,813	
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	0	0	
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	
(2) その他の一般正味財産	28,144,770	10,308,139	17,836,631
一般正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	28,144,770	10,308,139	17,836,631
正味財産合計	99,229,583	81,392,952	17,836,631
負債及び正味財産合計	106,750,593	83,653,621	23,096,972

貸借対照表内訳表

平成25年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金			98,204,974		98,204,974
未収金		2,512,189			2,512,189
前払金	462,000		598,973		1,060,973
立替金			360,697		360,697
仮払金			16,170,067	△ 16,170,067	
流動資産合計	462,000	2,512,189	115,334,711	△ 16,170,067	102,138,833
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
特定資産合計	0	0	0	0	0
(2) その他固定資産					
建物	1,998,394	115,242	191,217		2,304,853
什器備品	0	0	1,849,531		1,849,531
ソフトウェア	303,588	0	153,788		457,376
その他固定資産合計	2,301,982	115,242	2,194,536	0	4,611,760
固定資産合計	2,301,982	115,242	2,194,536	0	4,611,760
資産合計	2,763,982	2,627,431	117,529,247	△ 16,170,067	106,750,593
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	5,072,216	8,703	429,231		5,510,150
未払消費税等	1,135,069	146,331			1,281,400
預り金	20,000		709,460		729,460
仮受金	13,697,670	2,472,397		△ 16,170,067	
流動負債合計	19,924,955	2,627,431	1,138,691	△ 16,170,067	7,521,010
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	19,924,955	2,627,431	1,138,691	△ 16,170,067	7,521,010
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金 (うち特定資産への充当額)	35,542,406		35,542,407		71,084,813
2. 指定正味財産					
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	△ 52,703,379	0	80,848,149		28,144,770
一般正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	△ 52,703,379	0	80,848,149	0	28,144,770
正味財産合計	△ 17,160,973	0	116,390,556	0	99,229,583
負債及び正味財産合計	2,763,982	2,627,431	117,529,247	△ 16,170,067	106,750,593

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	101,221,315	96,124,685	5,096,630
正会員受取会費	53,301,000	51,915,000	1,386,000
施設会員受取会費	47,140,315	43,459,685	3,680,630
賛助会員受取会費	780,000	750,000	30,000
事業収益	201,156,500	169,627,145	31,529,355
学術大会参加収益	54,607,000	35,260,000	19,347,000
学術大会展示出店料収益	25,416,500	7,899,475	17,517,025
学術大会共催セミナー収益	20,475,000	4,700,000	15,775,000
認定医・専門医研修会事業収益	15,690,000	35,660,000	△ 19,970,000
専門医試験・認定事業収益	5,800,000	6,260,000	△ 460,000
認定医認定・更新事業収益	9,120,000	10,170,000	△ 1,050,000
情報管理指導士研修認定事業収益	26,270,000	26,559,000	△ 289,000
食生活改善指導士研修事業収益	4,440,000	5,045,000	△ 605,000
機能評価審査・認定事業収益	17,900,000	17,300,000	600,000
指定事業収益	20,480,000	19,720,000	760,000
雑誌販売事業収益	838,000	1,053,670	△ 215,670
国際人間ドック会議会費	120,000		
受取補助金等	0	0	0
助成金			
受取寄付金	13,500,000	3,280,000	10,220,000
受取寄付金	13,500,000	3,280,000	10,220,000
雑収益	12,269,310	9,357,049	2,912,261
受取利息	24,637	12,634	12,003
広告掲載料収益	3,437,900	2,956,000	481,900
雑収益	8,806,773	6,388,415	2,418,358
経常収益計	328,147,125	278,388,879	49,758,246
(2) 経常費用			
事業費	283,283,598	245,639,683	37,643,915
給料手当	31,865,732	38,591,675	△ 6,725,943
法定福利費	4,393,486	4,664,661	△ 271,175
退職給付費用	1,509,930	1,430,440	79,490
福利厚生費	17,850		17,850
旅費交通費	14,742,788	19,571,404	△ 4,828,616
通信運搬費	10,556,546	9,854,542	702,004
減価償却費	595,436	362,880	232,556
消耗什器備品費		519,225	△ 519,225
消耗品費	5,964,987	4,931,301	1,033,686
修繕費		82,900	△ 82,900
印刷製本費	34,077,364	34,874,372	△ 797,008
光熱水料費	575,558	658,473	△ 82,915
賃借料	64,705,565	45,068,235	19,637,330
会議費	1,507,605	7,631,616	△ 6,124,011
保険料			0
諸謝金	11,413,821	11,451,462	△ 37,641
租税公課	2,494,100	2,506,415	△ 12,315
委託費	98,096,140	61,307,439	36,788,701
支払助成金		1,350,000	△ 1,350,000
雑費	766,690	782,643	△ 15,953
管理費	27,026,896	21,924,063	5,102,833
給料手当	3,332,795	3,213,741	119,054
法定福利費	477,011	423,432	53,579
退職給付費用	136,800	136,800	0
福利厚生費	394,250	886,800	△ 492,550
旅費交通費	4,266,980	4,131,330	135,650
通信運搬費	2,389,682	2,249,252	140,430
減価償却費	738,500	534,421	204,079
消耗什器備品費		1,535,835	△ 1,535,835
消耗品費	1,315,536	596,039	719,497
修繕費			0
印刷製本費	2,838,732	2,759,788	78,944
光熱水料費	52,323	43,899	8,424
賃借料	2,188,091	1,176,354	1,011,737
会議費	734,989	807,238	△ 72,249
保険料	461,474	369,124	92,350
諸謝金			0
租税公課	307,049	70,800	236,249
委託費	6,415,754	2,324,415	4,091,339
交際費	266,100	1,300	264,800
雑費	710,830	663,495	47,335
経常費用計	310,310,494	267,563,746	42,746,748
当期経常増減額	17,836,631	10,825,133	7,011,498
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
固定資産売却益			0
その他経常外収益			0
(2) 経常外費用	0	0	0
固定資産除売却損			0
その他経常外費用			0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	17,836,631	10,825,133	7,011,498
一般正味財産期首残高	10,308,139	△ 516,994	10,825,133
一般正味財産期末残高	28,144,770	10,308,139	17,836,631
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額			0
基金返還額			0
基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	99,229,583	81,392,952	17,836,631

正味財産増減計算書内訳表

自平成24年4月1日
至平成25年3月31日

公益社団法人 日本人間ドック学会

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計		
	①学術大会・国際学会	②学会誌	③法務協定・資格認定(認定医・専門医・地域医) 専門医・地域医 指導士研修会)	④資格認定・資格認定(認定医・専門医・地域医) 指導士研修会)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定				共通	小計
I. 一般正味財産増減の部													
(1) 経費収益													
1. 受取会費	1101 正会員受取会費	0	0	0	0	0	26,650,500	0	0	26,650,500	0	0	53,301,000
	1102 賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	23,570,157	0	0	23,570,157	0	0	47,140,315
	1103 賛助会費受取会費	0	0	0	0	0	390,000	0	0	390,000	0	0	780,000
2. 事業収益	1201 学術大会参加収益	54,607,000	0	0	0	0	54,607,000	0	0	54,607,000	0	0	54,607,000
	1202 学術大会展示店料収益	25,416,500	0	0	0	0	25,416,500	0	0	25,416,500	0	0	25,416,500
	1203 学術大会共催セミナー収益	20,475,000	0	0	0	0	20,475,000	0	0	20,475,000	0	0	20,475,000
	1204 認定医・専門医研修会事業収益	0	0	15,690,000	0	0	15,690,000	0	0	15,690,000	0	0	15,690,000
	1205 専門医研修会事業収益	0	0	5,800,000	0	0	5,800,000	0	0	5,800,000	0	0	5,800,000
	1206 認定医認定・更新事業収益	0	0	9,120,000	0	0	9,120,000	0	0	9,120,000	0	0	9,120,000
	1207 情報管理指導士研修会事業収益	0	0	26,270,000	0	0	26,270,000	0	0	26,270,000	0	0	26,270,000
	1208 食生活改善指導士研修会事業収益	0	0	4,440,000	0	0	4,440,000	0	0	4,440,000	0	0	4,440,000
	1209 機能評価審査・認定事業収益	0	0	17,900,000	0	0	17,900,000	0	0	17,900,000	0	0	17,900,000
	1210 指定事業収益	0	0	300,000	92,000	0	392,000	0	0	392,000	0	0	392,000
	1211 雑誌販売事業収益	406,000	40,000	0	0	0	446,000	0	0	446,000	0	0	446,000
	1212 国際人間ドック委員会費	120,000	0	0	0	0	120,000	0	0	120,000	0	0	120,000
3. 受取補助金等	1301 助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄付金	1401 受取寄付金	12,700,000	0	0	0	0	12,700,000	0	0	12,700,000	0	0	12,700,000
5. 雑収益	1501 受取利息	1,222	0	0	0	0	1,222	0	0	1,222	0	0	1,222
	1502 広告掲載料収益	2,369,900	1,068,000	0	0	0	3,437,900	0	0	3,437,900	0	0	3,437,900
	1503 雑収益	0	288,463	35,750	4,442,000	0	4,766,213	3,870,178	0	8,636,391	0	0	8,636,391
		116,095,622	1,396,463	48,845,750	35,244,000	0	252,992,492	24,350,178	0	277,342,670	0	0	277,342,670
	[経常収益計]												
(2) 経常費用													
1. 事業費	2101 給付手当	1,773,449	1,773,448	18,958,029	4,786,882	3,014,583	30,306,391	1,559,341	0	31,865,732	0	0	31,865,732
	2102 法定福利費	253,695	253,685	2,409,673	829,802	423,324	4,170,179	223,307	0	4,393,486	0	0	4,393,486
	2103 退職給付費用	72,000	72,000	873,130	320,000	108,000	1,445,130	64,800	0	1,509,930	0	0	1,509,930
	2104 福利厚生費	0	0	0	0	0	17,850	0	0	17,850	0	0	17,850
	2105 旅費交通費	1,535,718	1,045,880	8,410,050	2,498,200	1,252,940	14,742,788	0	0	14,742,788	0	0	14,742,788
	2106 通信運搬費	803,320	5,458,129	832,442	3,033,705	425,190	10,552,786	3,760	0	10,556,546	0	0	10,556,546
	2107 減価償却費	8,513	8,513	268,140	123,203	21,282	429,651	165,785	0	595,436	0	0	595,436
	2108 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2109 消耗品費	5,428,723	307,513	29,600	701	198,450	5,964,987	0	0	5,964,987	0	0	5,964,987
	2110 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2111 印刷製本費	6,480,731	12,279,471	6,110,178	7,360,525	1,671,423	33,902,328	175,036	0	34,077,364	0	0	34,077,364
	2112 光熱水料費	20,929	20,929	345,335	104,647	52,324	544,164	31,394	0	575,558	0	0	575,558
	2113 賃借料	45,699,534	338,723	8,120,864	9,462,281	697,699	64,319,101	386,464	0	64,705,565	0	0	64,705,565
	2114 会費	1,265,233	0	159,920	20,452	62,000	1,507,605	0	0	1,507,605	0	0	1,507,605
	2115 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2116 諸謝金	1,711,095	100,000	4,742,726	4,860,000	0	11,413,821	0	0	11,413,821	0	0	11,413,821
	2117 租税公課	1,209,397	16,323	571,014	412,707	0	2,209,441	284,659	0	2,494,100	0	0	2,494,100
	2118 委託費	53,997,827	14,518,035	5,948,739	12,017,983	11,613,556	98,096,140	0	0	98,096,140	0	0	98,096,140
	2119 支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2120 雑費	4,915	2,310	271,910	14,280	5,460	467,020	735	0	473,505	0	0	473,505
	2201 給付手当						765,955	0	0	765,955	0	0	765,955
	2202 法定福利費						3,332,795	0	0	3,332,795	0	0	3,332,795
	2203 退職給付費用						477,011	0	0	477,011	0	0	477,011
	2204 福利厚生費						136,800	0	0	136,800	0	0	136,800
							394,250	0	0	394,250	0	0	394,250

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 適用している会計基準
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産
- | | |
|--------|-----|
| 建物付属設備 | 定率法 |
| 什器備品 | 定率法 |
- なお、主な耐用年数は次のとおりです。
- | | |
|--------|-----|
| 建物付属設備 | 15年 |
| 什器備品 | 5年 |
- ② 無形固定資産
- | | |
|--|-----|
| | 定額法 |
|--|-----|
- (3) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引
引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理を採用している

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,560,235	255,382	2,304,853
什器備品	2,034,637	185,106	1,849,531
合計	2,034,637	185,106	1,849,531

3 リース会計基準適用初年度開始前のファイナンス・リース取引関係

- (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	什器備品	合計
取得価額相当額	3,906,000	3,906,000
減価償却累計額相当額	3,795,750	3,795,750
期末残高相当額	110,250	110,250

- (2) 未経過リース料期末残高相当額

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	110,250	0	110,250

- (3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	781,200
減価償却費相当額	781,200
支払利息相当額	-

- (4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。
- (5) 利息相当額の算定方法は、利息相当額の総額のリース資産総額に対する重要性が乏しいと認められるため、リース料総額から利息相当額の合理的な見積額を控除しない方法によっている。

4 退職給付関係

- (1) 採用している退職給付制度の概要
独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入し、原則として同機構からの支給額をもって退職金とする。
- (2) 退職給付債務及びその内訳
- | | | |
|---------|---|---------------------------------|
| 退職給付債務 | 0 | 当該退職共済制度は確定拠出型のため、退職給付債務は発生しない。 |
| 退職給付引当金 | 0 | |
- (3) 退職給付費用に関する事項
- | | | |
|--------|-----------|------------------------|
| 勤務費用 | 1,646,730 | |
| 退職給付費用 | 1,646,730 | 当年度に支払った退職金共済掛金の金額である。 |

財 産 目 録

平成 2 5 年 3 月 3 1 日 現 在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	振替貯金 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局 普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店 定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店	支払資金として使用 支払資金として使用	42,049,727 26,131,832 30,023,415
未収入金	著作権使用料 健診協会事務所賃料他		1,412,189 1,100,000
前払金	事務所賃料翌年度期間分 25年度専門医認定試験会場費		598,973 462,000
立替金	休職職員負担、住民税等立替金		360,697
流動資産合計			102,138,833
(固定資産)			
その他固定資産			
建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室 公益目的事業に86.7%、収益事業等に5%、法人管理に8.3%使用	2,304,853
什器備品	パーソナルコンピューター コピー機	会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用	1,016,470 833,061
ソフトウェア		会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産) 公益目的事業管理ソフト (その他) 収益事業等又は会員管理ソフト	303,588 153,788
固定資産合計			4,611,760
資産合計			106,750,593
(流動負債)			
未払金	経費未払額		5,510,150
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		1,281,400
預り金	一般社団法人日本病院会 源泉所得税 社会保険料	指定料・研修会	20,000 296,434 413,026
流動負債合計			7,521,010
(固定負債)			
固定負債合計			
負債合計			7,521,010
正味財産			99,229,583

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当項目ありません

2. 引当金の明細

該当項目ありません